

## MCAP-CR+UP4Dの実験その2

9月27日の発表の実験1号機を元に常設用として再設計してみました。

1号機からの大きな変更箇所は

- ①スリム化・各気室の容量アップ  
目的：音場感・低音の増強  
42Hz ← 45Hz
- ②各ユニットの間隔の拡大  
目的：音場感のアップ？  
244mm ← 160mm
- ③ダクト位置の変更（チムニーダクト）  
真上と真下に配置 右図参照  
目的：見た目、配線のし易さ（上部ダクトより通線用ワイヤーを使用）
- ④正面ユニット高さを約800mmに設定  
目的：着座位置（耳高さ）に合わせた
- ⑤後面ユニットを最下部から最上部へ移動  
目的：④の設計条件より変更

※内向、外向ユニットは後面ユニットより聴感に影響が大きいと考え、正面ユニットを中心に上下に振り分けとした。

### ●エンクロージャー

主気室：5.75リットル  
第1気室：3.29リットル  
第2気室：6.58リットル

共振周波数

MCAP-CR : 42Hz 82Hz 130H  
第2バスレフ : 59Hz  
第1バスレフ : 96Hz

材料：3×6板 1枚（1セット分）  
12mm合板

### ●ユニット

ジャンク：PM-M0841CK

